

日刊建設工業新聞（2021年11月15日付3面掲載）

【オリコンサルグローバルJV インドネシアにエネシステム導入へ調査】

インドネシアにエネ システム導入へ調査

オリコンサル
グローバル

オリエンタルコンサルタ
ンツグローバルと北陸電力
送配電の2者JVは、イン
ドネシアで実施する電力関
連設備の効率率運用可能性
調査業務を国土交通省から
受託した。日本企業が持つ
先進技術を活用し電力の安

定供給に貢献する。受注金
額は非公表。調査業務の履
行期間は8月～2022年
2月末。

名称は「ASEANにお
けるエネルギーシステムの
導入可能性に関する調査検
討業務」。国交省の21年度
「スマートジャンプ事業」
としてオリコンサルグロー
バルJVが業務受注した。
インドネシアのスラウエシ
島南部に位置するマカツサ
ル市を対象に現地調査を実
施。電力の安定供給や品質
を向上させる設備構成、運
用方法などを検討する。

オリコンサルグローバル
が世界150カ国以上で手
掛けてきたインフラ整備の
ノウハウと、北陸電力送配
電が持つ海外電力事業の実
績を融合。同国で期待され
るスマートシティの実現
に技術力で貢献する。